



第67回学術集会 WEB開催を終えて

森崎 浩

慶應義塾大学医学部麻酔学教室教授

日本麻酔科学会第67回学術集会の大会長を務めました森崎浩です。ご承知のように新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえ、本学術集会は現地開催を中止し、主に録画配信による開催様式に変更、その会期(7月1日～8月31日)を無事に終えることが出来ました。1954年日本麻酔学会設立以来初となるWEB開催への急な変更にもかかわらず、ご協力賜りました講演者の皆様、ご支援いただきました関連企業・団体の皆様、企画運営を共に担っていただきました学術集会実行委員会ならびに事務局の皆様へ深く感謝申し上げます。一方、一般演題発表をはじめ、やむを得ず中止となりました企画の準備を進めていただいた皆様には誠に申し訳ありません。また長年に渡る懸案であった一般演題応募数は678題(前回703題、前々回856題)と今回も減少しましたが、採択率は79.4%(前回75.6%、前々回66.6%)と増加、採択演題数は537題(前回530題、前々回570題)と減少傾向に一定の歯止めがかりました。これは応募演題の質が向上した証とも考えております。

この30年余り、麻酔科学は目覚ましい発展を遂げましたが、30年後の麻酔科学あるいは麻酔科医のあるべき姿は一体どうなっていくのか? 私自身の素朴な疑問を本学術集会のテーマ『近未来社会における麻酔科学』といたしました。会長企画は3つに大別し、『近未来社会を考える』では人工知能の展開・再生医療の進歩・グローバル企業の視点・医療ビッグデータ解析・専門医機構の視点から考え、『海外に学ぶ』ではASAやESAのinvited speakerに加え、慢性痛・輸液療法・周術期医療の最先端を担う研究者に学び、そして『異分野に学ぶ』では航空機機長に求められる能力、ヒトが感じるうま味、日本列島人の祖先を知る企画を組みました。皆様の今後の糧になりましたでしょうか?

今回の経緯を振り返りますと、開催準備は順調に進み、1月17日学術

集会実行委員会では全日程をほぼ確定していました。2月に入り横浜港クルーズ船など国内情勢が厳しくなり、中旬には8月延期を見据え神戸会場を仮予約しましたが、海外から問い合わせが届きはじめ、3月3日『予定通り開催する準備を進めているものの、開催様式の変更や延期等を含め然るべき時期に判断する』との第1報をHPに掲載しました。11日WHOパンデミック宣言と前後して海外情勢が厳しさを増す中、19日開催理事会では『6月現地開催と後日WEB配信のハイブリッド開催』を提案し承認いただきました。しかし、その日の夜公表された『新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の状況分析と提言』を受け、熟慮を重ねた結果、『国民の健康を護る医師からなる公益社団法人として、1万人規模の移動と3密を厳格に避けることが困難な現地開催は断念すべき』との結論にいたりました。僅か半日で方針転換となりましたが、20日朝に理事会再審議をお願いし、25日の公表にいたった次第です。30日臨時学術集会実行委員会企画や会期を見直したうえで概要を公表しましたが、この当時は録画収録や配信に関する情報が十分ではなく、海外講演を含めどの程度の収録配信が可能なのか? またどの程度の会員の方々に参加いただけるのか? 不安が付きまといました。皆様の御蔭で最終的には約9,000名に参加いただき、54企画の総再生回数は10万回を超え、羽生善治九段による講演は7,400超の方々が聴講されるなど、通常では不可能な規模の企画がWEB開催で実現できました。ポストコロナ時代においてもWEB配信は重要な手段と再認識した一方、その意義を一段と高めるには、双方向の質疑応答の機会も大切と感じた方が多いと存じます。本学術集会が『近未来社会における学術集会の在り方を考える』良い機会となったのであれば、望外の喜びです。

最後に皆様のご健勝を祈念し、大会長からの報告といたします。

2021年度 第68回学術集会ハイブリット開催のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2021年に開催する第68回学術集会は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、神戸会場の会期を短縮・開催規模を縮小することとあわせて、WEB配信を実施するハイブリット開催とし、下記の通りそれぞれ現地会場、WEB上で学術集会を実施致します。詳細につきましては決定次第、随時ホームページ等でお知らせいたします。

参加者の皆様の安全を守り、知識・見識を得られる場の提供に実現に努めてまいりますので、ご理解、ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

現地開催

開催日: 2021年6月3日(木)・4日(金)

会場: 神戸ポートピアホテル・神戸国際展示場

WEB開催

開催日: 2021年6月5日(土)～7月9日(金)(仮)

■ 開催企画について

- ① 一般演題発表
発表は一部を除き、WEB発表とし、現地会場(神戸会場)での発表はございません。ただし、発表の一部、本年一般演題で募集する症例報告(英文限定) = Medically Challenging Cases (MCC) につきましては、神戸会場での発表となります。詳細は第68回年次学術集会一般演題募集要項をご確認ください。
 - ② 専門医機構認定/麻酔科領域講習
2021年8月以降、e-Learning配信いたします。
《神戸会場、WEB開催の双方で講習無し》
 - ③ 専門医機構認定/専門医共通講習
安全・感染・倫理の3企画を神戸会場で実施。2021年8月以降、e-Learning配信もいたします。
- ※ 上記①-③以外のその他企画詳細は2021年1月以降にホームページにて公開いたします。

■ 会場への来場者制限について

会期の短縮と会場規模縮小、現地の感染予防対策のため来場者数を制限する場合がございます。会場にご来場いただけない場合もWEB開催参加で会場と同等の実績を付与いたします。

公益社団法人日本麻酔科学会 理事長 小坂橋 俊哉
第68回学術集会 会長 廣田 和美

第10回定時社員総会報告

2020年8月10日(月)、第10回定時社員総会が神戸ポートピアホテル南館 ポートピアホールで開催されました。規程、細則等の規則変更は本学会HP内「会員の皆様」の「日本麻酔科学会定款及び規程・細則」よりご確認ください。また、「2019年度事業報告・2019年度決算・2020年度事業計画および予算」をそれぞれ公開しておりますので、本学会HPより規則変更とあわせてご確認ください。



2021年度・2022年度

支部学術集会開催形式の決定について

公益社団法人日本麻酔科学会 理事長 小坂橋 俊哉
学術委員会 委員長 川真田 樹人

謹啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大、こちらに伴う影響により中止せざるを得ない事態になることの事前対策として、支部学術集会の在り方、ならびに運営方法について慎重に議論を重ねた結果、2021年度、2022年度支部学術集会は完全WEB開催とさせていただくことを決定いたしました。

開催日時、プログラム編成等の詳細は決定次第、適宜支部学術集会ホームページ(<https://anesth-branch2021.org/>)に掲載、お知らせいたします。

参加者、ならびにご講演者、ご協力企業の皆様におかれましては、従来の開催形式と異なりご不便な箇所もあるかと存じますが、引き続きご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2021年度		2022年度	
北海道・東北支部第11回学術集会	下田 栄彦	北海道・東北支部第12回学術集会	片山 勝之
関東甲信越・東京支部第61回合同学術集会	奥田 泰久	関東甲信越・東京支部第62回合同学術集会	磯野 史朗
東海・北陸支部第19回学術集会	白石 義人	東海・北陸支部第20回学術集会	高橋 完
第67回関西支部学術集会	藤野 裕士	第68回関西支部学術集会	溝淵 知司
中国・四国支部第58回学術集会	堤 保夫	中国・四国支部第59回学術集会	松本 美志也
九州麻酔科学会第59回大会	恒吉 勇男	九州麻酔科学会第60回大会	原 哲也

麻酔博物館へのモニタ等のご寄贈について(お願い)

平素より麻酔博物館運営につきまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。麻酔博物館は、2021年に開館10年目の節目を迎えるにあたり、展示内容の更新を行っております。会員の皆様および企業の皆様におかれましては、新規展示のテーマの一つである2000年頃のモニター等のご寄贈をお願い申し上げてまいりましたところ、ご厚志を多数お寄せいただきました。厚く御礼申し上げます。

しかし現在、目的とする以下のモニター等が集まりきっておりません。また、近年の塗油音波診断装置を用いた中心静脈穿刺や神経ブロックの普及をうけ、超音波診断装置も博物館として保存いたしたく存じます。現在ご使用でない器材が手術室や実験室の片隅に眠っている場合、麻酔博物館へご寄贈願えますと大変ありがたく存じます。故障して完動品でないもの、ケーブルやセンサー等の無いものでも構いません。何卒よろしくごお願い申し上げます。

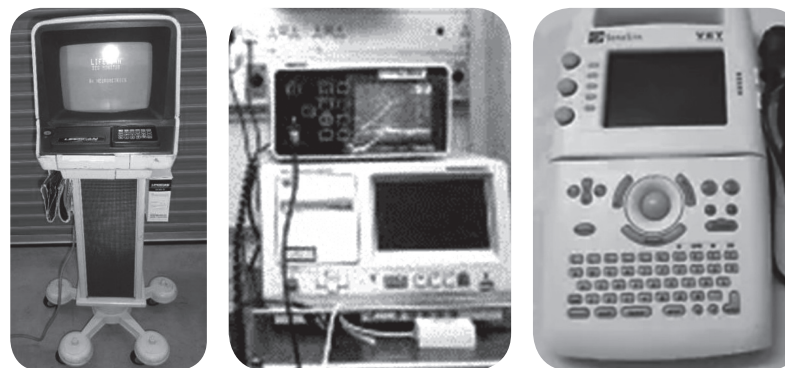
麻酔博物館館長 武田 純三

ご寄贈依頼物品

- BISモニター：a1000
- 脳波モニター：Life Scan EEG monitor
- シリンジポンプ：グレスビー 3400、テルモの旧式シリンジポンプ(ディブリバン専用ポンプなど)
- NIRS：NIRO 500、INVOS 3100、INVOS 4100
- 携帯型張音波装置：Sonosite s180など、ただし、心エコーなど、大型のエコーについては保存スペースに限りがありますので、ご寄贈を申し出てもご希望に添えない場合がございます。
- 連続心拍出血量・混合静脈血酸素飽和度モニター：Hospira OptiQ、OXIMETRIX3
- 非観血的心拍出血量モニター：DYNEMO3000(SOMETEC)、Hemosonic 100 Monitor、NICOモニター7300
- 気道確保器具：ユニベントチューブ

ご寄贈方法

麻酔博物館ホームページ<https://anesth.or.jp/users/common/museum/>内、下段にございます寄贈フォームよりお手続き願えますと幸いです。



寄贈希望品の写真左から、Life Scan EEG monitor、中央上INVOS 3100、中央下NIRO 200、右 Sonosite s180

日本専門医機構認定専門医 新規認定について

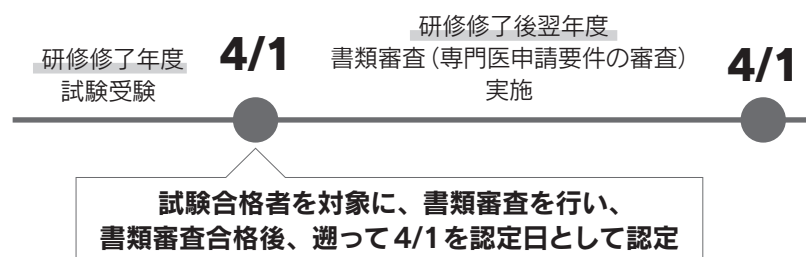
2021年度より日本専門医機構認定研修プログラム修了予定者の新規認定の審査が開始となります。

審査開始に伴い、2018年度以降開始の研修プログラム修了予定者を対象に実施となる認定フローについて説明いたします。

以下、A、Bの図の認定フローに分かれ(受験年度が異なる)、A、Bいずれかを初回のフローとするかは受験生が選択するものとなります。受験実施を研修終了年度(プログラム開始から4年目が最短)と同じAを選択し、すべての試験に合格した者は、翌年度

に書類審査を受け、合格後は同年の4月1日に遡って専門医が認定されます。ただし、試験で1科目以上不合格となった場合、もしくは受験に必要な審査で不合格となった場合、書類審査で不合格となった場合は、次回以降の認定フローは従来の制度と同じフローBとなります。

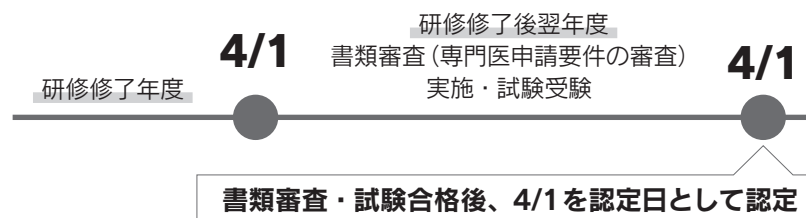
図A



例) 2021年度研修修了の場合

2021年5月～6月に受験申請
→2021年10月試験
→3科目合格者は2022年5月～6月に書類申請
→2022年9月までに書類に関する審査(専門医申請要件の審査)
→合格者は2022年4月1日に遡って専門医認定

図B



2017年度以前開始の学会認定研修プログラム修了者については、フローBと同様になります。

上記事項や申請方法の詳細につきましては、[日本麻酔科学会ホームページ](#)をご確認ください。

国内名誉会員推薦受付 開始時期について

2021年度名誉会員の推薦受付を下記の通り予定しております。推薦方法等の詳細につきましては、学会ホームページに掲載後、日本麻酔科学会代議員の皆様に掲載した旨、ご連絡いたしますので、ご確認とご周知の程、宜しくお願いします。

推薦受付期間：2021年1月7日(木)～2021年2月1日(月) 17時事務局書類 必着

2020年度の年会費の納入がまだの方はお支払をお願いします

2020年度年会費の支払締切日(2020年9月30日(水))が過ぎております。まだお支払でない方は、至急お支払ください。 会員専用ページ/マイページの「プロフィール」内、左側メニューボタン「年会費支払照会」より画面に従ってお手続きください。お支払い情報のマイページ反映には、2、3日お時間をいただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

**2020年度かつ
前年度の2019年度年会費未納の方へ
—ご周知ください—**

- 2020年9月30日に2019年度年会費に未納があった方は、「学会の発行する会員向けの印刷物及び電子的情報の配布を受ける権利」「学会認定医、学会専門医、機構専門医、学会指導医等の資格の申請をする権利」を停止させていただきます。2年度分を完納いただければ権利は復活します。
- 2021年3月31日に2019年度年会費に未納がある方は、2021年3月31日時点で退会となります。再度会員になる場合は入会の手続きを行っていただく必要があります。ただし再入会時に従前の専門医等の認定資格は復活せず、再度取得となりますのでご注意ください。

領収書について

会員専用ページ/マイページの「プロフィール」内、左側メニューボタン「領収書発行」より画面に従って出力ください。(1回のみ出力可能です)



麻酔機器・器具故障 不具合情報について

安全委員会委員長 廣田 和美

本学会は、医療の安全性向上のため、麻酔関連機器の故障情報の収集と迅速な警告発信を行っております。2020年6月から10月までに、HPに掲載された注意情報は下記の通りです。

情報は以下のページに随時掲載しておりますので、会員の皆様におかれましては常時ご確認いただきますようお願い申し上げます。また、同様の事象が発生しましたら anzen@anesth.or.jp までご連絡ください。



故障情報掲載ページ

https://anesth.or.jp/users/person/safety_initiatives/heads_up

日本麻酔科学会トップページ→医療関係者の皆様→麻酔機器・器具故障情報、薬剤情報、注意喚起

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 エイシス用気化器Aladin2カセット不良の件

- 製品名** 気化器 Aladin2 カセット
使用年数 4年(耐用年数 7年)
事象 エイシスのデスフルラン用気化器 Aladin2 カセットに麻酔薬を注入時、その麻酔薬ボトルが注入時の位置(差し込んで上に持ち上げた状態)から動かなくなり、そのボトルが抜けなくなった。
対応 Aladin2カセットにおきまして、不具合が確認された場合は、ご使用を中止いただき、速やかに弊社カスタマーコールセンター(0120-055-919)へご連絡をいただきますようお願いいたします。

- 対応** 原因となったプリント基板を交換し、正常動作を確認している。
 なお、当該事象はこれまでに同様の報告事例が無いため、単一故障と判断している。

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 エイシスCS2不良の件

- 製品名** 麻酔システム エイシスCS2
使用年数 0年(耐用年数 7年)
事象 麻酔中に突然「フレッシュガスを認識できない、非常用酸素流量計を作動させるように」という内容のアラームメッセージが発生。
対応 トラブル対応手順に従いミキサーボードの不良と判断し、該当部品を交換。

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 気化器の濃度設定OFF

- 製品名** FLOW-i 麻酔システム
 (マッケ・クリティカルア社製スウェーデン)
モデル FLOW-i C30
事象 全身麻酔施行中、デスフルランの濃度設定が5%からOFFになっていた。
対応 麻酔器本体の気化器接続部(スロット2)気化器ロックレバーを交換し、両気化器スロット含む麻酔器本体前面パネルのアライメント調整を実施した。同様 事象が発生した場合は以下の対応で継続使用が可能となる。
 以下対応後に事象が改善されない場合は、サービス担当者へご連絡をお願いします。
 ● 気化器を一度取り外し、再度取り付けた後、麻酔薬濃度を再設定。
 ● 気化器を取り外し、使用スロットを変更して取り付けた後、麻酔薬濃度を再設定。

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 Tec6プラス気化器デスフルランの濃度設定ダイヤルについて

- 製品名** Tec6 プラス 気化器 デスフルラン
事象 手術開始30分後に、吸入麻酔薬のデスフルランが投与されていなかったことに起因するとおもわれるバッキングが、2回あった。それが契機となり、デスフルランが投与されていないことが発覚したため、他の吸入麻酔に切替えて手術は完遂した。
対応 1. Tec6 プラス用の電源ケーブルを麻酔器背面のサービスコンセントに差込み、電源サーキットブレーカーがONの状態であることを確認してください。
 2. 通电後、アラーム、インジケーター、麻酔剤レベル表示バーを確認し、麻酔剤は必要に応じて充填を行ってください。
 3. 本装置は電源を供給した状態でご使用いただき、ウォームアップ中***は、ロック機構によりダイヤルが回転できないことを確認してください。
 4. ご使用中は、麻酔ガスモニタリングを実施してください。

*ウォームアップ中*** (LEDが黄色に点灯)に、濃度設定ダイヤルが回転する場合は、使用を中止し、弊社サービスまでご連絡ください。

ムンディーファーマ株式会社 アネレム静注用50mg自主回収について

- 製品名** アネレム静注用50mg
- | 製造番号 | 使用期限 | 出荷数量 | 出荷開始日 |
|--------|---------|---------|------------|
| YA9701 | 2022.06 | 15,980本 | 2020/07/26 |
| YA9702 | 2022.06 | 29,850本 | 2020/07/26 |
| YA9703 | 2022.06 | 29,580本 | 2020/07/26 |
- 事象** アネレム静注用50mgの製造番号YA9701において、医療機関から製品バイアル内にガラス片が混入しているとの報告を受けた。
対応 当該製造番号の製品並びに当該製造番号の製品と同一の製剤ロットから製造された製造番号YA9702及びYA9703の合計3ロットを自主回収。(回収開始:2020年9月2日)

ドレーゲルジャパン株式会社 PerseusA500の器械換気停止について

- 製品名** Perseus A500
事象 使用中に器械換気が停止したため、用手換気に切り替えた。

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 麻酔システムの流動変動について

- 製品名** FLOW-i 麻酔システム
 (マッケ・クリティカルケア社製・スウェーデン)
モデル FLOW-i C30
事象 全身麻酔施行中、突発的な流量変動が発生し、FiO2、ピーク圧、一回換気量の上昇と、麻酔薬濃度の減少が確認された。
対応 吸気ガス流量調節部品であるノズルユニットを交換

フィリップス・ジャパン株式会社 電気メス使用時の患者モニター動作について

製品名 MX800 モニター

事象 MX800 モニターにて患者モニタリングを行っている時に電気メスを使用すると、心電図波形等を含むすべてのパラメータ表示が消えてしまうことがある。

対応 電気メスからのケーブルとMX800 モニターからのケーブルとの距離を取る。

スミス・メディカルジャパン株式会社 回路用人工鼻用フィルタで報告された事例について

製品名 回路用人工鼻フィルタ ストレートタイプ ミドル (品番 002823P)

事象 上記製品を使用時、水分の詰まりにより製品の交換が必要になる事象。

対応 本品の内部に水滴や分泌物が溜まっていないことを定期的を確認し、水滴や分泌物が認められた場合は、直ちに新品に交換すること。

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 麻酔システム Carestation 650のガス流量表示器に発生した障害について

製品名 麻酔システム Carestation 650

事象 麻酔システムCarestation 650のガス流量調節ノブの上部に配置されたデジタル流量表示器 [18] の表示が突然、全て“8.8”となり、正しい各ガスの流量が表示できなくなった。

対応 障害発生時は、機器電源の再起動により解消することが出来る。

障害が発生した状態であっても、設定流量供給へは影響はない。麻酔装置ディスプレイの供給ガス流量もしくはトータルフレッシュガスフローメーターで供給ガス流量を確認することにより継続使用が可能。機器電源の再起動を行っても障害が解消しない場合は、下記へ問合せ。カスタマーコールセンター：0120-055-919



浦安で、始めました。

順天堂大学附属浦安病院 麻酔科 高橋 伸二

筑波大学を辞して、2020年1月から順天堂大学附属浦安病院麻酔科に赴任しました。浦安は若い力で満ちあふれています！これから明るく、楽しくと思っていたのですが、赴任早々にコロナ禍に巻き込まれました。学会もなく、お世話になっている方々へのご挨拶が遅れ申し訳ありません。

コロナ禍のなか、世の中はGo To トラベル、Go To イートなど、経済が動き始めました。人の動きは感染拡大への懸念もありますが、時は待ってくれません。早く日常を取り返さないと。そしてライフワークであるACLS教育プログラムも動き始めました。受付時の体温測定、感染者への濃厚接触の可能性の問診などCOVID19感染対策はなかなか大変です。コース中も、マスクの着用は当たり前でシナリオ毎に物品の清拭と手指消毒が欠かせません。講義室は換気、空気清浄機をフル回転しています。コロナが蔓延したことでアメリカ心臓協会の蘇生アルゴリズムも変化しました。コロナウイルス感染による心停止であることを否定できないケースでは、BLSの開始時にたくさんの人を集めるのではなく、「人を制限して実施する」ことやACLSでの「気管挿管の推奨度が増加し、実施可能なら早めに挿管して気道のウイルスを封じ込める戦略」になっています。基本は変わりませんが、時代の移り変わりでアルゴリズムは変化しています。また、2020年は心肺蘇生のガイドラインイヤーです。今年度は日本麻酔科学会のACLS普及のお手伝いを始めました。もうすぐ術中心停止のプラクティカルガイドも公表できると思っています。

新天地、順天堂大学浦安病院麻酔科で、残りのキャリアを楽しく過ごして行きたいと思います。若さにあふれている私たちと、共に活動していただけの方を絶賛募集中です。

スタンプラリーで考えた我が家の家訓

鳥取大学医学部附属病院 大槻 明広

我が家では今月スタンプラリーがはやりであります。先日は山陰の県をまたいだ隣のスタンプラリーイベントに参加しておりました。町中を歩き回ってスタンプがある場所を探しながらスタンプを押していくのですが、赤、青、緑、黄色のスタンプを押していき、最後に黒のスタンプを押しますと、観光スポットである月山富田城にちなんだ図柄が浮き上がってくるではありませんか。5色の版画のようなイラストができあがる様は、まさにテンションが上がるのであります。スタンプの場所になぜか必ずある、おいしそうな食べ物の誘惑と戦いながら、町中を彷徨っていると、山中鹿之助の有名な一言「願わくば、我に七難八苦与えたまえ」と書かれたT

シャツが販売されておりますのが印象的でした。

「我が家の家訓は“苦勞は買ってでも避けろ！”です」、十数年前にお世話になった山陽地方の脳外科の先生がおっしゃっていたことを思い出し、我が家の家訓はどんなものにするべきか、恥ずかしながら妄想してしまいます。“苦勞はできるときにしておけ”っていうのも魅力的でございますが、さまざまな患者さんに出会い、苦痛の緩和を目標として治療を考えてきた経験から分析いたしますと、私の理想は少し変わりそうです。苦勞を厭わないのではなく、苦勞と思うのを無理して避けるでなく、苦勞しながらも楽しめるメンタリティを培いたいのであります。

スタンプラリー、響きは楽しそうなのですが、時に険しい山を登ったり、時間短縮のために走ったり、道に迷って人間性を否定するような非難を浴びたり、このようなアクティビティをこなすのはロコモティブな痛みが出現してきた父には正直辛い時もございます。しかし、旅の友が喜ぶ顔が見られるこの瞬間は、まさに、この上なく幸せな時間でございます。

自分自身の運動療法と認知行動療法を実践するために、おしゃれなマスクをつけて来週もスタンプラリーにいくしかない。

ペットの勧め

鹿児島大学病院手術部 松永 明

COVID-19感染拡大に伴う外出制限、人との接触制限、ソーシャルディスタンス堅持など、生活環境の大きな変化が人々に多大な不安やストレスをもたらしている。特に某麻酔科学教室の教授のように宴会好きには耐えきれない状況である。また、芸能人の相次ぐ自殺やこの夏以降の自殺者の増加は、コロナ禍での精神的な孤立がその一因と報じられている。そのため、コロナ禍での不安やストレスを和らげるためにペットを飼う人が増えている。米国の調査では、ペット保有者の72%が「ペットがいなければこの大変な状況を乗り越えられなかった」と答えているように、ペットはふさぐ心を癒してくれる。我が家にもサフィーという名の犬がいる。それまで飼っていた二匹の犬が次々と亡くなり、一人娘も大学進学のため家を離れ夫婦二人きりとなったので、4年前にサフィーを飼い始めた。私がどんなに遅く帰宅しても、サフィーは2階の寝室から玄関まで走って降りてきて尻尾をちぎれんばかりに振り、私の帰宅を歓迎してくれる。そのかわい

い仕草は、緊急手術麻酔のストレスやその日の嫌なことを忘れさせてくれる。医師の中でも麻酔科医は薬物依存症に陥るリスクが高い。容易に薬物を手に入れる環境が最大の要因には違いない。加えて、外科医はチームで手術という仕事をするが、麻酔科医は基本的に一人独力で患者の生命を守るという仕事をするため、コロナ禍と同様に不安やストレスに一人で立ち向かう立場であることも要因の一つであろう。そのためか、薬物依存症の麻酔科医の約80%が20～30歳代の経験の少ない若い麻酔科医である。少し飛躍しすぎだと思うが、仕事だけではなくプライベートでも他人に相談できず精神的な孤立を感じている若い麻酔科医はペットを飼ってみてはどうだろう。インターネットなどでも寂しさを和らげるために一人暮らしでも飼えるペットに関する記事が多く見受けられる。ペットを飼うことで生活に様々な制約が加わるが、ペットはそれ以上の物を与えてくれる。但し、飼育放棄だけは絶対しないほしい。

会員(IC)カード発行について

会員(IC)カードは、年次学術集会(毎年5月もしくは6月)・支部学術集会(毎年9月)に間に合うように発行しております。会員(IC)カードは年次学術集会、支部学術集会での参加登録(チェックイン・会期中に1回必須)、単位を取得される講習の入退室に必要です。紛失された方は会員専用ページ/マイページの「プロフィール」内、左側メニューボタン「カード再発行申請」からお手続きを行ってください。

他学会の学術集会で麻酔科領域講習、共通講習受講のため、仮会員カードを臨時で発行される場合には、会場内に設けております、仮カード発行ブースで有料発行のうえ、ご参加ください。会期終了後に返却をお願いいたします。

※会期中中に返却された場合、再発行には、再度発行代金をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

入会について —ご周知ください—

毎月10日を期日とし、入会申請を受け付けております。入会申請には、①WEB申込及び②書類の提出が必要となっており、①・②どちらも完了している方を対象に入会審査を進めております。審査後、同月15日付けで入会承認結果を申請者にメールで通知いたします。承認された方はメールに記載されたURLから、期日までにクレジット決済で年会費を入金していただくことになり、入金完了時点で会員となります。

※入会スケジュールは、変更となる場合がございます。詳細につきましては、弊会HP「入退会案内・会員情報更新・会員カードについて」をご確認ください。

※一旦退会后、再度会員になる際も前述の手続きで入会申込を行ってください。直近の退会時点で未納年会費がある場合、こちらと合わせて入会年度の年会費をお支払いいただき、再入会となります。ただし、専門医等の認定資格は再入会しても復活しません。再入会と新入会の申請ページは異なりますので、ご確認いただいた上でご申請をお願いいたします。

編集後記

本年最後のニューズレターの編集を終え紙面を眺めてみるといかに新型コロナウイルス感染症が我々に与えた影響が大きかったかを痛感させられる。まず第67回学術集会がWEB開催となり、第68回学術集会もハイブリッド開催の方針となった。また支部学術集会は2021年度と2022年度はWEB開催とすることが告知されている。さらにこれらの影響を受けて専門医などの資格認定制度も対応を余儀なくされている。このように新型コロナウイルス感染症の流行はそれに罹患した患者さん達だけでなく我々にとっても大きな災いであったことは間違いない。

もちろん人類がこれまでに多くの感染症を克服してきたように、やがて新型コロナウイルス感染症も克服されるであろう。そして克服の過程で医療はさらに進歩し「災い転じて福となす」と言えるようになる時代がくるかもしれないが、コロナに罹患した患者さん達のことを考えると医療業界ではそうなるまでかなりの年月を要するであろう。

しかしデジタルトランスフォーメーションの観点からは、もっと早い段階で「災い転じて福となす」と認識されるようになるのではないだろうか?例えば、第67回学術集会での羽生善治九段による講演は7,400超のアクセスがあったとのことであるが、これは例え会場が満員になっても1000名程度しか聴講できなかったことから考えるとWEB開催の大きなメリットである。また週末毎の研究会や学会がWEB開催に置き換わり、自由になる時間が増えていることを実感している会員も少なくないのではないだろうか?

このようにコロナ禍に関して「災い転じて福となす」という格言を引用するのは時と場所を選ぶ必要がありそうだが、「禍福は糾える縄のごとし」との格言であればもう少し汎用性が高そうだ。少なくともこれを用いてコロナ禍を乗り越えた先に福が来ることを期待することは許されるだろう。しかし、こちらの格言は福の後に災いがあることも示唆している。デジタルフォーメーションがさらに進んだ場合には紙媒体であるニューズレターの命運も心配だ。

(広報委員会 委員 角倉 弘行)

訃報連絡

2019年11月～2020年10月にご逝去の届出がございました名誉会員、会員は下記の通りです。謹んでお悔やみ申し上げます。

※名誉会員、代議員経験者のみ

- 吉川 清 先生 (名誉会員) 2016年 2月18日
- 伊藤 祐輔 先生 (名誉会員) 2020年 3月16日
- 天方 義邦 先生 (名誉会員) 2020年 4月 6日
- 新見 能成 先生 (会 員) 2019年10月 3日

公益社団法人 日本麻酔科学会

NEWS LETTER

2020 Vol.28 no.4

https://anesth.or.jp

2020年12月18日発行

©Japanese Society of Anesthesiologists

本誌掲載記事の著作権は全て(公社)日本麻酔科学会に帰属いたします。無断複製・転載を禁じます。

◆編集・発行 (公社)日本麻酔科学会 広報委員会

[広報委員長] 川口 昌彦
 [広報副委員長] 水野 圭一郎
 [広報委員] 讃岐 美智義、渋谷 博美、鈴木 昭広、角倉 弘行
 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号
 神戸キメックセンタービル3階
 TEL:(代表)078-306-5945
 (認定関連問合せ専用ダイヤル)078-335-6078
 FAX:078-306-5946

◆制作 株式会社杏林舎
 〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10
 TEL:03-3910-4311 FAX:03-3949-0230